

磐城中正新報

發行日 毎月二回 一月十五日
定額 郵税共 一部 金拾錢
一 局 料 普通 郵 十二 字 詰 一 行
一 回 八 十 錢 場 所 指 定 廿 錢 増
一 印 刷 費 安 澤 榮 作
一 發 行 所 磐 城 縣 平 町 番 成 跡 四
一 磐 城 中 正 新 報 社

縣の選舉準備進む

選舉告示は来る四日

開票所は縣下で廿七ヶ所
選舉會場は郡市で廿ヶ所

縣議選舉に對する縣の準備送達となつてゐる尙此の普
は全く完了するに至つた。選舉をして最も優秀なる成果
ち来る四日に總選舉の告示を發するたの本月上旬より各
をなすと同時に選舉長並に郡市一ヶ所に各市町村の
票管理者の任命を爲し、庶務主任を兼ねた地方課員總
ちに立候補届出の受付をなす。出動で選舉事務講習會を開
す事となつた。票所は前同様に決してゐるが、縣
通りで廿七ヶ所(石城郡は警察部でも各署と連絡をと
平、上小川、植田の三ヶ所)違反防止の萬全を期すべ
く、選舉會場は各郡市一ヶ所、高等課員の増員をなし、準
づ、で計二十ヶ所、投票用備を進めてゐる。
紙は既に各市町村役場へ發

注目すべき

政友會の候補者

現縣議の再起は至難

新人を擁立陣容一新か

過般の政友會幹部會にて、現縣議三名を推し若し現
は現縣議三名を推し若し現、島田兼吉の三氏郡南
縣議にして出馬不能の場合、は山崎登、緑川秀雄南
は自己に代るべきを推薦の内に決するらしく、若し前
して非公式に幹部の承認を記の關内、井上、島田の三
待て、選挙に臨む段取りで氏にして固辭する場合は尋
あるが古川、山崎、鈴木の縣議の鈴木辰三郎氏が再
三氏は起意なき模様で然らぬ止なき事情に至るべく且
は誰を推すべきかと云ふ諸、加藤丈夫氏に奮起を促す
説紛々として不明なるも、加藤は田子健吉氏の懇請を
々確實性を帯びてると見られて公認するが何れにし

野崎氏の行動

平素の行動に

共鳴者多し

現縣議野崎滿藏氏は從來の
行き掛り上若松氏の部會長
である石城民政部會とは絶
縁の形ちであるが、同氏が平
素の仁侠的氣骨と純情の所
有者である故、今度の立候補
聲明前より同志の同情意外
に多く爲めに同氏に反感を
持つ一派は是が非でも氏の
當選を拒止せんとする傾向
が漸次濃厚となつて來た様
であるが一方其がため反つ
て同氏に對する同情、日に
集り、愈々正式に立候補
補出運動に着手の曉は少
くとも第三位あたりで當選
の榮冠を荷ふものと見られ
てゐる。

比佐信太郎氏

區長に選任さる

町一丁目比佐信太郎氏は

選舉區代議士の

意見を無視せば断然除名

民政黨本部より各支部へ嚴達

民政黨本部では今回行はる比佐代議士の推薦意見に従
て、縣會議員選舉に際し公認を待たずして立候補し
せよと其支部に迫るものはたも除名處分に附せら
れ、其部選出代議士の推薦したるものものと
候補者以外に断然公認せ
ざる事には決定したが若し之
を破り黨規に違反する反逆
的候補者は呵責なく斯平た
る處置の除名處分に附する
事となつたが石城郡より立
候補する民政黨の候補者は
除名する事

石城民政部の選舉對策幹部會

候補者はいよいよ

若松、秋原、赤津の三氏

出馬に略々決定す

普通に依る第二回本縣縣會議員若松美三、同黨清
議員總選舉は九月廿五日執
行されるが政、民兩黨支部
に於ては各々目的の議員數
獲得策に腐心してゐるが石
城民政部會に於ては三名を
公認して必勝を期すべく、
選挙對策委員二十名を
若松美三、黨清、秋原義
雄の三氏を候補者として其
承諾を求め、東奔西走しつ
つ、あつたが、八月廿日午
後に一時より平町民政黨俱
部會樓上に比佐代議士臨席
部會長若松美三氏が辭任し

九品寺境内の

聖德太子堂奥殿落成

盛大なる入佛式と大祭典

餘興に盆踊參拜者數萬に達せん

人皇三十二代用明天皇第一長は佐々木健一郎、祭典係
の皇子にして我が國憲法制
定の創始者として且つ聖德
諸氏である
を千年の後までも稱いら
る、聖德太子の御尊像を安
置する平町九品寺境内の堂
宇建設は、同寺住職遠藤
心光師主唱の下に昨年來多
數有志諸氏の熱心なる奔走
に依り目下の不況時にも不
拘地方善男善女の喜捨に依
り建設中の所愈々々々竣工
したので九月四日(舊七月
廿二日)の御縁日を以て盛
大なる入佛式を舉行し大祭
典を行ふことになつたが當
日は御護符及御札、御供物
太子の由緒書等を一般參拜
人に授與する等尙當日は大
盛況を呈し、獨り盆踊りを
催し晝夜數百發の煙火を打
揚げる等地方空前の大祭典
物件たる酒が其以前に納税
して祭典係の委員一同は
數日前より寢食を忘れて其
ふにありと、ところが最近
製造業者及中小酒造業方面
から蔵出課税に反對運動が
猛烈に起り、右の陳情採み消
滅を求め役員會を開催し協
解を求め役員會を開催し協
議する由であるが何れにし
て四期に定時的に徴收さ
觀られてゐる

田子健吉氏の

潜勢力

其の手腕

本郡三坂村出身の田子健吉
其の手腕

酒造家の板挟み

造石税を蔵出税に

改正で利害の衝突

全國酒造組合では酒造税の
課税方法を現行の造石税を
蔵出税に改定して、酒造税
に該當する金額は翌年の七
月まで無利子で運用するこ
とが出来、然るに蔵出課税
となれば十二月に賣渡すと
同時に徴收されるから此の
利益を喪失するといふにあ
る。酒造組合中央會では此の反
對運動に對し主税局長の諒
解を求め役員會を開催し協
議する由であるが何れにし
て四期に定時的に徴收さ
觀られてゐる

銘酒 福美

石城郡内郷村高坂

醸造元 四家又一

電話四番

鳳城炭礦株式會社

喜久多鑛業所

内外科一般

永井醫院

上小川村

鑛山用諸機械、電氣器具

田邊商店

平驛前通り
電話二九四番

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋疾 市原三三男
皮膚病 市原三三男
平町田町本通り

市原醫院

(入院隨時) 電話一四四番

磐城炭礦株式會社
鐵道省枕木 御用達

材木商 三佐藤三平

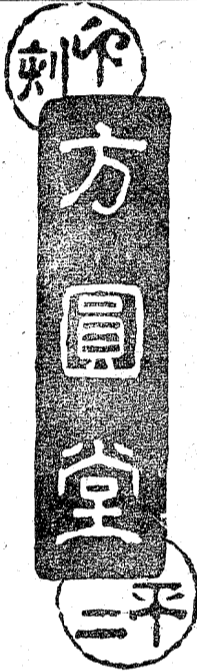
福島縣石城郡内郷村大字小島字新町
平電話四三〇番

平町田町 (電話五二三番)

高久病院

醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄

内科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻喉科
レントゲン科



豫て新築中の工事も竣工しました

眺望第一と効顯の著しい藥湯が皆様の御來園をお待ちしてゐます。

是非一日の御清遊を……

平町城山

聚樂園

園主飯田近治

洗濯物の「御用命」

親切……丁寧……迅速の三拍子揃った

親切……丁寧……迅速の三拍子揃った

平町搔槌の海老原洗濯店へ

雨に露に晒す程 煙突は

朝日 石綿セメント製

朝日煙突

絶対にはげない!!
経済的で 火災の心配がない

久金屋商店

内外科一般

佐藤醫院

常磐線泉驛前
電話一一番

看護婦の派出は何時でも迅速確實に御需に應じます

平南町

平看護婦會

會長 清野キヨ
電話三〇七番

共濟醫院 輕費診療開始

郡内廿四ヶ町村の囑託により
六月一日より輕費診療を開始

診療科目 内科、小兒科、外科、性病科
皮膚科、産婦人科、物理療科、耳鼻咽喉科、×光線科

診察料 輕費診療 五十錢
本會員 無料

藥價 (一日) 輕費診療 十五錢
本會員 無料

入院料 (分) 輕費診療 一圓以上
本會員 無料

院長 醫學博士 石山謙郎
本院 主管 賀澤忠治

磐城共濟會 (電話六四一番)

磐城銘酒 代表

吉

美味經濟 味噌

ヤマハ醬油

山崎合名會社

債券、公債、兩替、金融

多田井質店

平町大工町
電話五九一番